

オンラインで職場体験

鴨志田中で初実施

鴨志田中学校で1月22日、2年生を対象とした職場体験学習がオンラインで行われた。写真。

毎年、地元店舗や企業などに訪問して行われている同学習。しかし、今年はコロナ禍で対応が難しく、中高校生のキャリア教育を行っているNP



O法人「アスリード」の協力を得て、初めてオンラインで実施された。

当日、生徒はITや飲食、福祉など6業種に分かれ、学校と職場をオンラインでつないで授業がスタート。(一社)エステティックグループの講師は美容の仕事について解説し、女子生徒が

やりがいを尋ねると「コンプレックスを改善してきれいになる、幸せになる、そのプロセスに携われること」と答えた。また、対面の仕事となるため、コミュニケーションの重要性を話していた。

一方、警備業の株K

SPに勤める講師は「安全・安心を提供する仕事はなくなる」と職業を選んだ経緯を説明。生徒には「昔は問題解決能力が必要と言われたが、今はどうやったら解決できるかインターネットで調べることができる。だから目標と自分のギャップに気づく力が大事」と呼びかけた。参加していた2年1組の伊藤龍さんは「『警備員はただ入口にいただけではなく、心からおもてなしするサービススタッフと考えている』と話していたことが印象深かった。将来の仕事について真剣に考えようと思った」と語った。

同校の瀧崎利司校長は「コロナ禍でできない事が多い中、キャリア教育が継続できてよかった」と振り返っていた。